



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2025/5/1発行

第112号

9期卒業式
10期入学式

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

日本ベンジャミン人間性英才学校 9期卒業式・10期入学式

2025年4月6日、日本ベンジャミン人間性英才学校の第9期生卒業式と第10期生入学式が、三重県志摩市にある地球市民研修センターにて開催されました。当日の様子はYouTubeでもライブ配信され、全国各地から多くの方々がご視聴くださいました。

式では、品川校長より「私たちの脳の中にはブレインフォンという、スマートフォンを超える能力を発揮できるツールがある」とのお話がありました。そのブレインフォンを「オン」にし、充電することで活用できる方法を、ベンジャミン学校の脳教育を通じて学んできたという説明のもと、「ブレインフォンをオンにしよう！そして、充電しましょう！」という呼びかけが行われました。それに応じて会場の全員が一斉に「ブレインフォンをオン！ブレインフォンを充電！」と声に出し、会場には大きな一体感が生まれました。

また、全国の国会・地方議員の皆様から祝電が寄せられ、志摩市長および志摩市教育委員

長からも心温まるお祝いのメッセージを頂戴しました。さらに、昨年10月に開催された「地球市民青少年サミット」で共に活動した子どもたちや卒業生、青年地球市民リーダーたちからのビデオメッセージも上映され、心に残る温かなひとときとなりました。会場には卒業生4名も駆けつけ、式の終盤にはサプライズでパフォーマーを披露、卒業後も脳教育を実践し続けている様子を、力強く表現してくれました。



今回の式で特に印象的だったのが、初の試みとなるナレーション劇「明日に向かう僕らのストーリー」あの日の一歩が、すべての始まりだった。です。この劇では、心を閉ざしSNSの世界にこもっていた子、学校に行く元気をなくしていた子、まわりの評価を気にして緊張していた子たちが登場し、ベンジャミン学校での出会いをきっかけに、体力・心力・脳力をバランスよく育てる脳教育を通して少しずつ変わっていく姿が描かれました。そして最後には、社会や地球のためのプロジェクトに取り組み姿が映し出され、「私と社会と地球を守る」というスピリットを胸に、未来へ力強く一歩を踏み出す姿で締めくくられました。



生徒代表として石井瑛一さん、岡嶋友美さんが、ベンジャミン学校での成長ストーリーをスピーチで発表。また、竹村祥嘉さんは、普段はなかなか口にできない親への感謝を手紙に綴り、心を込めて読み上げました。

卒業証書授与では、野球の全国大会決勝戦に出場中の徳田

結さんが映像で登場し、ベンジャミンHSP12段を披露しました。



保護者代表として、徳田結さんの母・徳田裕子さんからは、「大好きで続けていた野球が腰痛のためできなくなっていた中、ベンジャミン学校に入学しました。グッドニュースがグッドブレインを作る」というBOS法則の通り、全国出場を果たすことができました。選択すれば成し遂げられるを実践できたと思います。先生方が結の大きな可能性を信じ、愛をもって見守り導いてくださったおかげです」と、深い感謝の言葉が述べられました。

Instagramで最新情報公開中

詳しくは
ベンジャミン学校 検索